

感染者への差別や偏見をなくそう

ただいま、おかえりって
言いあえるうちに

えんてらす
塩尻市北部交流センター

みんなで広げよう、
シトラスリボンプロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

from ehime

シトラスリボン

プロジェクトとは
コロナ禍で生まれた差別、
偏見を耳にした愛媛の有志
がつくったプロジェクトで
す。愛媛特産の柑橘にちな
み、シトラス色のリボンや
専用ロゴを身につけて、
「ただいま」「おかえり」
の気持ちを表す活動を広め
ています。リボンやロゴで
表現する3つの輪は、地域
と家庭と職場（もしくは学
校）です。

「ただいま」「おかえり」
と言いあえるまちなら、安
心して検査を受けることが
でき、ひいては感染拡大を
防ぐことにつながります。
また、感染者への差別や偏
見が広がることで生まれる
弊害も防ぐことができます。
感染者が「出た」「出な
い」ということ自体よりも、
感染が確認された“その後”に
的確な対応ができるかどう
かで、その地域のイメージ
が左右されると、考えます。
コロナ禍のなかに居ても居
なくても、みんなが心から
暮らしやすいまちを今こそ。
コロナ禍の“その後”も見すえ、
暮らしやすい社会をめざし
ませんか？

シトラスリボンfromエヒメ



シトラスリボンプロジェクトの
HPはこちら
<http://citrus-ribbon.com/>

えんてらす（塩尻市北部交流センター）は「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に添い、
職員がシトラスリボンを身につけています。

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・「エッ
センシャルワーカー」の皆さまなど）が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と
言いあえるまちでありますようにとの願いを込めて。

感染者への差別や偏見をなくそう

ただいま、おかえりって
言いあえるうちに



えんてらす

塩尻市北部交流センター

みんなで広げよう、
シトラスリボンプロジェクト。



Citrus
Ribbon
PROJECT

from ehime

シトラスリボン

プロジェクトとは

コロナ禍で生まれた差別、偏見を耳にした愛媛の有志がつくったプロジェクトです。愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色のリボンや専用ロゴを身につけて、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めています。リボンやロゴで表現する3つの輪は、地域と家庭と職場（もしくは学校）です。

「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちなら、安心して検査を受けることができ、ひいては感染拡大を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることで生まれる弊害も防ぐことができます。感染者が「出た」「出ない」ということ自体よりも、感染が確認された“その後”に的確な対応ができるかどうかで、その地域のイメージが左右されると、考えます。コロナ禍のなかに居ても居なくても、みんなが心から暮らしやすいまちを今こそ。コロナ禍の“その後”も見すえ、暮らしやすい社会をめざしませんか？

シトラスリボンfromエヒメ



シトラスリボンプロジェクトの
HPはこちら
<http://citrus-ribbon.com/>

えんてらす（塩尻市北部交流センター）は「シトラスリボンプロジェクト」の趣旨に添い、職員がシトラスリボンを身につけています。

感染が確認された方々、私たちの暮らしを守り、支えてくれる方々（医療従事者・「エッセンシャルワーカー」の皆さまなど）が、それぞれの暮らしの場で「ただいま」「おかえり」と言いあえるまちでありますようにとの願いを込めて。